

令和7年度第1回 生命地域妙高環境会議 入域料部会 次第

日 時：令和7年4月15日（火）

13時00分から

会 場：妙高市役所3階303会議室

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 自己紹介

4 議題

(1) 第2次 妙高山・火打山地域自然資産地域計画について

(2) 令和6年度 入域料事業報告について

(3) 令和6年度 入域料特別会計決算報告について

(4) 令和7年度 入域料事業計画（案）について

(5) 令和7年度 入域料特別会計予算（案）について

5 その他

6 閉 会

令和7年度 入域料部会委員名簿

R7.4.1現在

	委員枠	所属	氏名	役職	備考
1	学識経験者	東京農工大学 名誉教授	土屋 俊幸	部会長	
2	学識経験者	新潟ライチョウ研究会 代表	長野 康之		
3	自然環境保全 団体	新潟県生態研究会 会長	藤本 孝昭		
4	観光事業者	妙高ツーリズムマネジメント 事務局長	欠員		6/30まで事務局長不在
5	山岳ガイド	インフィールド 代表	中野 豊和		
6	林野庁	関東森林管理局 上越森林管理署 署長	松井 章二		
7	新潟県	環境局 環境対策課 自然共生室 室長	川口 晴男		
8	環境省	信越自然環境事務所 国立公園課 課長	鈴木 祥之		
9	環境省	妙高高原自然保護官事務所 自然保護官	秋本 周		
10	妙高市	観光商工課 課長	松橋 守		
11	妙高市	環境生活課 課長	長谷川 賢治		

議題（2）

令和6年度 入域料事業報告について

1 妙高山・火打山地域自然資産地域計画の策定

第1次計画が令和6年度をもって期間満了となることから次期計画を策定

（1）入域料に関する利用者アンケートを実施

対象者：妙高山、火打山への登山者で笹ヶ峰登山口に下山した者

実施期間：令和6年7～10月のうち合計14日間 12：00～17：00

調査場所：笹ヶ峰登山口

方法：下山時に調査票を配布し、現地もしくは後日ウェブにて回収

回答数：902人（前回930人）

（2）策定スケジュール

<令和6年>

7月～10月 アンケート実施

9月～12月 事務局においてアンケート集計、現計画の事後評価

<令和7年>

1月16日 次期計画（素案）の審議（令和6年度 第2回入域料部会）

2月13日 次期計画（案）の審議（令和6年度 第3回入域料部会）

3月3日～4月1日 パブリックコメントの実施

4月中旬 次期計画（最終版）の承認（令和7年度 第1回入域料部会）

6月1日 「第2次妙高山・火打山地域自然資産地域計画」施行（予定）

2 入域料充当事業

（事業実施に当たっては、入域料及びクラウドファンディングを充当）

（1）ライチョウ保護対策事業 ※生命地域妙高環境会議一般会計と合算事業

予算額 2,600,000円 決算額 313,785円

（環境会議との合算 予算額 5,100,000円 決算額 3,073,435円）

①令和6年度妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査委託

予算額 1,100,000円

決算額 154,000円

（環境会議一般会計分

決算額 1,386,000円）



②令和6年度頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託

予算額 1,000,000円 決算額 99,000円

(環境会議一般会計分 決算額 891,000円)

A) 繁殖期及び非繁殖期におけるライチョウ個体数調査

B) 大型哺乳類の生息実態調査



③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託

予算額 500,000円 決算額 50,000円

(環境会議一般会計分 決算額 450,000円)

④その他事業実施のためのボランティア保険料及び振込手数料等

決算額 10,785円

(環境会議一般会計分 決算額 32,650円)

(2) 登山道整備事業

予算額 2,000,000円 決算額 2,063,326円

①妙高山・火打山地域における登山道整備事業(歳入充当による市実施事業)

予算額 1,150,000円 決算額 847,968円

箇所：火打山登山道 富士見平から高谷池ヒュッテ方面(約500m)

内容：洗堀箇所の登山道整備、周辺の植生回復対応



②登山道整備資材購入・輸送

予算額 750,000 円 決算額 1,215,358 円

箇所：火打山登山道 富士見平から高谷池ヒュッテ方面

内容：木道整備のための木材購入・防腐処理、高谷池ヒュッテまでの空輸
(120mm×1mの角材 150 本及びボルト等)



③火打山登山道足洗い場設置

予算額 100,000 円 決算額 0 円

箇所：火打山笹ヶ峰登山口付近

内容：足洗い場の設置（令和5年度～）
6月14日設置、11月5日撤去



3 その他

(1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典を受けることができる取組の実施

・ 妙高高原ふれあい会館：入浴料の割引

(2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）

・ 環境会議ホームページによる実施結果の公表

・ 各収受場所におけるポスターの掲示

(3) 燕温泉登山口の入域料箱の追加設置

- ・入域料箱を2か所（登山口、駐車場）に設置し、見落とし防止を図った



登山口



駐車場

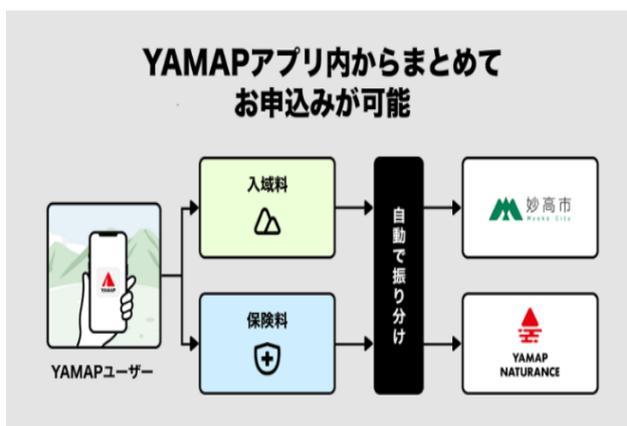
(4) 携帯トイレの普及啓発

- ・笹ヶ峰登山口での自動販売機による販売：販売数 120 個
- ・燕温泉大日屋での販売：販売数 25 個
- ・妙高高原ビジターセンターでの販売：販売数 10 個
- ・笹ヶ峰及び燕温泉登山口に携帯トイレ回収ブースの設置及び定期的な廃棄物の回収
- ・山域での携帯トイレ利用促進のため、笹ヶ峰登山口及び燕温泉登山口に設置している携帯トイレ回収ボックスの鍵を開放し誰でも利用できるように改善



(5) 登山保険付き入域料による事前決済の導入

- ・YAMAPと連携した登山保険付き入域料による事前決済を試験導入
- ・開始日
令和6年10月7日～
- ・利用者（開始～年度末）
22人



令和6年度 入域料特別会計決算報告について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算	決算	差額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	199,140	139,493	△ 59,647	市からの会議費に対する負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,800,000	4,975,535	175,535	入域料総額
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	4,514,969	4,514,969	0	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	85,891	4,935	△ 80,956	携帯トイレ売上 2,000円 決算利息 2,935円
合計			9,600,000	9,634,932	34,932	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算	決算	差額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	199,140	139,493	△ 59,647	部会謝金等
	2 事務費	1 事務費	200,000	122,026	△ 77,974	・燕温泉登山口入域料箱作成 ・収受にかかる消耗品 ・登山保険付き入域料手数料 ・標柱作成委託 ほか
	3 広告費	1 広告費	200,000	100,265	△ 99,735	告知チラシ等
2 事業費	1 事業費	1 ライチョウ保護対策事業	2,600,000	313,785	△ 2,286,215	・ライチョウ生息地回復調査委託 ・頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託 ・ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託
		2 登山道整備事業	2,000,000	2,063,326	63,326	・登山道整備委託負担金 ・登山道整備資材輸送業務委託 ・木道材料購入費 ほか
		3 収受員賃金	400,000	252,080	△ 147,920	笹ヶ峰登山口収受員賃金
		4 調査員賃金	400,000	119,060	△ 280,940	計画策定に伴うアンケート調査員賃金
		5 燕管理費	60,000	53,964	△ 6,036	燕登山口収受・返礼品管理
		6 協力者記念品	1,100,000	1,045,825	△ 54,175	木製キーホルダー10,000個
		7 携帯トイレ購入	60,000	39,600	△ 20,400	携帯トイレ150個
	2 繰越事業費	1 ライチョウ事業分繰越事業費	1,149,922	3,869,962	3,090,539	ライチョウ事業分 過年度 2,246,137円 当年度 1,623,825円
2 登山道整備事業分繰越事業費	1,145,047	1,515,546	登山道整備事業分 過年度 △108,279円 当年度 1,623,825円			
3 予備費	1 予備費	1 予備費	85,891	0	△ 85,891	
合計			9,600,000	9,634,932	34,932	

【戻入額の考え方】市負担金の会議費については、精算して返納する。

市負担金 199,140円－会議費支出 139,493円＝市会計への戻入額 59,647円

【繰越事業費の考え方】

繰越事業費（事業別）＝過年度繰越事業費＋当年度繰越事業費（当該年度の会計残額を折半）

議題（４）

令和７年度 入域料事業計画（案）について

1 入域料の收受実施内容

（１）收受場所

- ①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口
- ④妙高高原ビジターセンター ⑤インターネットを利用した事前決済

（２）收受期間

令和7年7月1日（火）から10月31日（金）まで

（３）收受方法

①笹ヶ峰登山口

- ・土日祝日等登山者が多く見込まれる日の午前5時から午前10時まで収受員を配置し有人による收受を行う。
- ・収受員賃金等收受コストの効率化を図るため、収受員の配置日数は概ね令和6年度を上限とし、減員に向けた措置を取る。
- ・収受員配置時は、PayPayでの收受も受け付ける（R5年度から導入）。
- ・収受員が配置されていない時間は、入域料箱で無人による收受を行う。

②燕温泉登山口

- ・終日入域料箱による收受を行う。

③新赤倉登山口（スカイケーブル乗り場）

- ・終日入域料箱による收受を行う。

④妙高高原ビジターセンター

- ・入域料の取組の周知を目的に、入域料箱による收受を行う。

⑤インターネットを利用した事前決済

- ・Syncableによる事前決済（R3年度～）
- ・YAMAPと連携した登山保険付き入域料による事前決済（令和6年度～）

（４）金額

500円（任意）

（５）返礼品

- ・木製キーホルダー
- ・携帯トイレ
- ・ライチョウピンバッジ（1,000円以上の寄付者）

- 2 入域料充当事業 ※市負担金（クラウドファンディング）も充当
- (1) ライチョウ保護対策事業 ※生命地域妙高環境会議一般会計と合算事業
 予算額 640,000 円（環境会議一般会計分 予算額 2,560,000 円）
- ①令和7年度妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査委託
 予算額：340,000 円（環境会議一般会計分 予算額 1,360,000 円）
 箇所：ライチョウ平事業区
 内容：・環境改善事業
 ・センサーカメラ調査
 ・イネ科植物除去作業
 ・ライチョウ捕食者に係る糞調査
- ②令和7年度頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託
 予算額：200,000 円（環境会議一般会計分 予算額 800,000 円）
 箇所：火打山及び焼山周辺
 内容：個体数調査
- ③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託
 予算額：100,000 円（環境会議一般会計分 予算額 400,000 円）
 内容：・上記①で採取したライチョウ捕食者の糞のDNA分析を行う。
- (2) 登山道整備事業
 予算額 1,660,000 円
- ① 妙高山・火打山地域における登山道整備事業（整備箇所は別紙のとおり）
 予算額：1,500,000 円（歳入充当による市発注事業）
 箇所：妙高山（胸突き八丁～天狗堂～光善寺池上）
 内容：洗堀箇所の登山道整備、周辺の植生回復対応
- ② 火打山登山道足洗い場設置
 予算額：50,000 円
 箇所：笹ヶ峰登山口付近
 内容：足洗い場の改修
- ③ 登山者カウンター設置
 予算額：110,000 円
 内容：笹ヶ峰登山口に登山者カウンター設置
- (3) オオハンゴンソウ駆除事業
 予算額：300,000 円（環境会議一般会計分 予算額 100,000 円）
 箇所：笹ヶ峰高原、いもり池周辺、燕温泉登山口周辺
 内容：・特定外来生物であるオオハンゴンソウの駆除
 ・笹ヶ峰オオハンゴンソウ空撮業務委託
 ・笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託

(4) 高層湿原保全事業

予算額 500,000 円 (環境会議一般会計分 予算額 200,000 円)

①現地確認踏査

予算額：320,000 円 (環境会議一般会計分 予算額 130,000 円)

内 容：機械設置箇所及び植生調査箇所の確認、計画書作成委託

②資料の収集・整理

予算額：180,000 円 (環境会議一般会計分 予算額 70,000 円)

内 容：植生及び気象に関する資料の収集・整理委託

(5) 携帯トイレ普及事業

予算額：60,000 円

内 容：携帯トイレの普及啓発、利用者実態調査の実施

3 その他

- (1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典 (入浴割引ほか入域料特別特典など) を受けることができる取組の拡大
- (2) 入域料充当事業の広報の強化 (ホームページや収受場所での掲示)
- (3) 令和7年度からライチョウ保護と登山道整備以外にも、計画に基づき地域自然環境保全等事業に入域料を充当することから、財政計画に基づき環境会議一般会計予算 (市負担金) や繰越事業費を運用しながら実施予定
- (4) 高層湿原保全事業は、令和7年度中に長期的な調査の方向性を立案

R7年度 入域料充当 登山道整備箇所



令和７年度 入域料特別会計予算（案）について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	120,860	199,140	△ 78,280	市からの会議費に対する負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,800,000	4,800,000	0	@500円×9,600名
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	5,385,508	4,514,969	870,539	前年度からの繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	93,632	85,891	7,741	預金利息等
		合計	10,400,000	9,600,000	800,000	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	120,860	199,140	△ 78,280	部会謝金等
	2 事務費	1 事務費	200,000	200,000	0	・収受にかかる消耗品 ・登山保険付き入域料手数料 ほか
	3 広告費	1 広告費	200,000	200,000	0	告知チラシ等
2 事業費	1 事業費	1 ライチョウ保護対策事業	640,000	2,600,000	△ 1,960,000	・ライチョウ生息地回復調査委託 ・頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託 ・ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託
		2 登山道整備事業	1,660,000	2,000,000	△ 340,000	・登山道整備委託負担金 ・登山道整備資材輸送業務委託 ・木道材料購入費 ・登山者カウンター設置 ほか
		3 オオハンゴンソウ駆除事業	300,000	0	300,000	・保険代金 ・空撮業務委託 ・駆除作業評価業務委託
		4 高層湿原保全事業	500,000	0	500,000	・現地確認踏査、計画書作成委託 ・植生・気象に関する資料の収集・整理委託
		5 収受員賃金	400,000	400,000	0	笹ヶ峰登山口収受員賃金
		6 調査員賃金	0	400,000	△ 400,000	計画策定に伴うアンケート調査員賃金
		7 燕管理費	60,000	60,000	0	燕登山口収受・返礼品管理
		8 協力者記念品	1,600,000	1,100,000	500,000	・木製キーホルダー (@110円×10,000個) ・ピンバッジ (@440円×400個×2種) ・ピンバッジ台紙作成・印刷
		9 携帯トイレ購入	60,000	60,000	0	携帯トイレ(@300円×200個)
		2 繰越事業費	1 繰越事業費	4,565,508	ライチョウ事業 1,149,922 登山道整備事業 1,145,047	2,270,539
3 予備費	1 予備費	1 予備費	93,632	85,891	7,741	
		合計	10,400,000	9,600,000	800,000	